

ツバキ油搾り初め式

岡崎の工場 来月、伊勢神宮に奉納



伊勢神宮(三重県伊勢市)の式年遷宮で、新たな神殿に最初にももされる灯明の燃料となるツバキ油の「搾り初め式」が25日、岡崎市の食用油メーカー「太田油脂」であった。精

また、同大会の「形」種目に出場する瀬戸市立東山小学校5年、吉田楠大君

製される約16キの油は来月23日に伊勢神宮に奉納され



る。
式年遷宮の明かりは、通常使う菜種油ではなく、純度が高く、煤が出にくいツバキ油が古来から使われてきた。1902年創業の同

社では、62年から神宮に菜種油を納めている縁で、前回の式年遷宮からツバキ油を奉獻している。

搾り初め式では、地元の宮司が工場で行われたツバキ油の搾り初めの神事

神事を行ったあと、油を搾り取る機械を動かし、約1分後、少し黄色がかった油が搾り出された。